

あなたが、  
誰かの  
船になる。

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



Japan  
Women  
Foundation



すべての女性が  
健康で生きやすく、活躍できる社会を目指して

医療・福祉・政治・経済が連携し、女性を包括的に支援します。

私たちの活動は、  
女性たちを包括的に支援する社会をイメージし、フェムシップと呼んでいます。



[japan-women-foundation.org](http://japan-women-foundation.org)

# 私たちは、3つのテーマで活動します

## I 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながらその現状について調査、記録しています。

**すべての女性が健康で生きやすく、  
活躍できる社会を目指す**

## II 女性支援を広げる活動

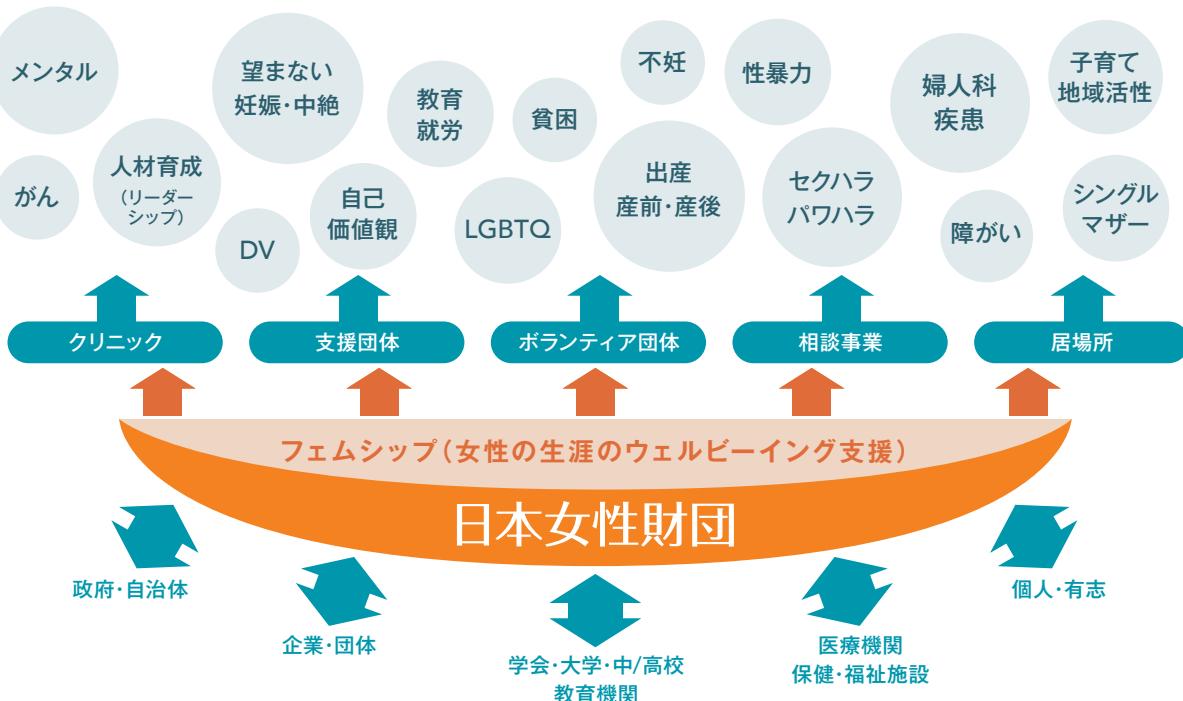
すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、  
全国各地にプラットフォームを構築し、  
横連携するしくみをつくっています。

## III 情報・データを集め政策提言する活動

女性たちの実態やデータを収集し、  
政府や自治体をはじめ、社会に具体的な提言を行います。  
より良い社会システム構築に向けた活動です。

日本女性財団は、  
女性たちの  
健康課題に対して、

- I 現場で取り組みながらその現状について調査し報告します。
- II 各分野や各目的で女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、  
全国各地にプラットフォームを構築し、横連携することによって、女性支援の質と量を高めます。
- III 得られた課題の情報やデータを政府や自治体の長に伝え、女性政策の提言をします。



## ご挨拶

# 女性の生涯のWell-beingの実現に向けて、 草の根から包括的に社会を動かします

女性を包括的に支援する社会を目指して、フェムシップ活動を展開します。

代表理事  
**対馬 ルリ子**

産婦人科医  
女性ライフクリニック銀座・新宿  
理事長



本財団は、未曾有のコロナ禍の中で誕生しました。女性には特有の健康リスクがあります。日本の女性に関するヘルスリテラシーは他の先進国に比べ低いのが現状です。私たちは、「女性の生涯の心身と社会的なウェルビーイングを支援する」というテーマを掲げ、女性の心身の健康 および社会的な活躍を後押しし、新しい日本の社会づくりに貢献してまいります。

また、コロナ禍の医療現場では、女性たちの困窮した姿が急増し現在も望まない妊娠、中絶、DV、虐待、失業、貧困による栄養失調、月経困難症など、女性たちの大きな負担とリスクが大きな社会問題となっています。

日本女性財団は、包括的に女性の人生を支え、救済して乗せる母船(femship:フェムシップ)をイメージしています。支援を必要としている女性たちを、フェムシップドクターズや支援団体が窓口となって、適切な専門機関、継続的な支援につなぎます。また、多くの企業や組織と連携して社会課題解決のための活動を展開します。  
あなたもfemshipに乗船し、社会に声を届けませんか?

## ● 理事



**対馬 ルリ子**(代表理事)

産婦人科医  
女性ライフクリニック銀座・新宿  
理事長



**吉川 千明**

会社代表  
美容家・  
オーガニック  
スペシャリスト



**内田 容子**

会社代表  
総合電機メーカー  
広報・PR職(現職)



**森田 敦子**

株式会社サンルイ・  
インターナショナル  
代表取締役



**北條 裕子**

株式会社 SouGo  
代表取締役社長



**稻田 龍介**

会社役員



**上野 千鶴子**

社会学者・東京大学名誉教授  
認定NPO法人WIMENZ  
アクションネットワーク(WAN)  
理事長  
[撮影 後藤さくら]



**関口 由紀**

泌尿器科医  
女性医療クリニック  
LUNAグループ  
理事長



**高宮城 直子**

産婦人科医  
Naoko女性クリニック  
院長



**落合 香代子**

一般社団法人ママリングス  
代表理事  
一般社団法人ポジティブ・  
ディシプリン  
コミュニティ理事



**佐々木 恵美子**

コセキ株式会社  
取締役  
NPO法人 SOLO  
理事長



**笹尾 敬子**

日本女性ウェルビーイング学会  
代表  
国立国際医療研究センター  
理事

## ● 評議員



**奥田 浩美氏**

株式会社ウイスグループ  
代表取締役



**小巻 亜矢氏**

株式会社サンリオ  
エンターテイメント  
代表取締役社長



**田瀬 和夫氏**

SDGパートナーズ有限会社  
代表取締役CEO



**池上 清子氏**

公益財団法人  
プラン・インターナショナル・ジャパン  
理事長



**吉村 泰典氏**

慶應義塾大学 名誉教授  
新百合ヶ丘総合病院 名誉院長



**高階 恵美子氏**

自民党 衆議院議員



**大須賀 穣氏**

東京大学大学院医学系研究科  
産婦人科学講座  
教授

## I 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながらその現状について調査、記録しています。

### Action 1 フェムシップドクターズ(女性を支援する医師)をふやす活動

フェムシップドクターズ®とは、日本女性財団の趣旨に共感し、女性支援を行うことに賛同くださった医師または国家資格を持ち、当該職務にて活動実績のある医療従事者の総称です。

2024年現在、全国で96名のフェムシップドクターが活躍しています。

5年間で500名のフェムシップドクターの登録を目指しています。

フェムシップドクターズへの関心を高め、

養成講座を年に1回行っています。(リアル年1回 オンデマンド研修随時)

フェムシップドクターズ:2024年96名



フェムシップドクターズ養成講座

### Action 2 女性たちが相談しやすい医療施設の窓口を増やす活動

すでに活動している医療施設や福祉・支援窓口を登録し紹介します。女性たちがどこに相談しても有効につながって解決にたどりつけるよう、地域で顔が見える連携をした相談窓口を増やします。また、キーパーソンたちが動きやすいように、プラットフォーム構築と事務局機能の支援をします。



全国の相談窓口

<https://japan-women-foundation.org/doctorlist/#drlist>

### Action 3 経済的に困窮する女性への医療支援

フェムシップドクターたちの裁量により、さまざまな条件たとえば居住地域や身分証明、経済状態の証明を必要とせずすみやかに必要な支援につなげるようにしています。財源はクラウドファンディング等によって調達しています。

超音波検査	72	その他検査	50	処置	13	経口中絶薬(寄附23.06-)	16	性交痛、尿失禁、便失禁、GSM	23
性感染症検査	92	ビル処方	275	アフターピル	34	MVAキット(寄附23.07-)	5		
血液検査	11	ミレーナ挿入料	9	妊娠検査	18	診断書	3	その他	124
子宮がん検査	19	処方	84	中絶手術	15	転居、施設支援	3	累計	866

(2021.9～2024.5現在)

## II 女性支援を拡げる活動

すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、全国各地にプラットフォームを構築し、横連携するしくみをつくっています。

### Action 4 女性を支援する地域プラットフォームの構築

医療・福祉・政治・経済が連携する当財団の活動がWAM(独立行政法人福祉医療機構)のモデル事業として採択され、地域全体で女性たちを支援するプラットフォームを開設しています。



全国6ヶ所(岩手、東京、秋田、岡山、沖縄、中部)にあるプラットフォームを拠点とし、各地域の女性支援団体45団体が連携し、全国にネットワークを展開しています。



政治家との意見交換

フランス病院見学

### Action 5 女性支援団体、協力企業、協力政治家との交流、連携団体への支援

日本の女性たちを助け、その見えないニーズをくみあげ、企業活動や製品づくりに生かしたい企業の皆様方が、法人会員として財団をさせてくださっています。

2024年より企業プラットフォームを構築し、いっしょに社会活動・企業活動をしてゆく計画をすすめています。財団の理事や評議員と企業との個別の企業内啓発、健康相談、事業相談なども可能です。



政治家との意見交換



フランス病院見学

## Action 6 フェムシップドクターズ養成講座

地域の支援団体や行政と連携して、女性や女の子たちの医療支援をするフェムシップドクター・フェムシップサポーターを養成する活動

これまで、性暴力被害対応、DV被害女性への支援、思わぬ妊娠や性感染症に悩む女性、女性特有の体調変動等について、大学や大きな病院に所属する医師や医療職は、そのニーズについて学ぶことはありませんでした。しかしコロナ自粛以降、家庭や学校、職場など閉ざされた関係内で起きていた暴力や搾取に対する支援が必要になっています。医療者も、行政や支援団体と横連携して、敷居の低い医療支援をするため、学ぶ機会を設けました。



フェムシップドクターズ研修



日本赤十字秋田看護大学研修

お申し込み先:  
フェムシップドクターズ養成講座



## Action 7 女性が安心して集える居場所の提供 フェムシップハウス事業

困った状態に陥っている女性や女の子が、相談したり、休んだり、一時的に身を寄せることができるフェムシップハウスを各地に開設しています。医療や行政、メンタルケア、ヘルスケアにつながり、からだと心と生活の自立ができるように、医療者や支援者が支援をつなげます。



第1号:青森県八戸市 白銀ハウス (シェアハウス、民泊、レンタルルーム) 2022年

第2号:埼玉県さいたま市 ヒューマンブーケ(居場所、デイサービス) 2023年

第3号:静岡県富士市 れんげそう (自立支援ホーム) 2024年

## III 情報・データを集め政策提言する活動

女性たちの実態やデータを収集し、政府や自治体をはじめ、社会に具体的な提言を行います。より良い社会システム構築に向けた活動です。

## Action 8 活動報告会・イベント開催

### 3月 フェムシップドクターの日

毎年、東京都江東区カメイドクロックで、地域住民や支援者のみなさんに、子どもや女性が頼りにできる医師たちを知っていただくイベントです。



「フェムシップドクターの日」をKAMEIDO CLOCK(東京都江東区)にて開催しました

### 8月 フェムシップの日(8月20日)

財団設立記念日に1年間の活動報告会の機会を設け、支援団体や法人個人会員、ボランティア間の交流を深めています。

### 10月~12月 フェムシップメディアセミナー、フェムシップガラパーティ(予定)

メディアを通じて広く企業や個人に呼びかけ、困窮する女の子たちを救済するばかりでなく、ジェンダーや経済の格差を解消してすべての人々が助け合い、豊かで文化的な生活を送れる国家を目指します。

## Action 9 政策提言

女の子や女性の健康課題解決にむけて、現場から政策制度の提案をしています。

・自民党本部政務調査会「女性の生涯の健康に関するプロジェクトチーム」にて政策提言を行いました。

自民党政調への提言(2024年5月)

提言1. 女性のウェルビーイングのための環境作り 提言2. 子ども若者包括健康支援センターの創設  
この提言により、女性の包括的健康支援【からだの自己決定権と性の尊厳(SRHR)】を加速させています。



## Action 10 関連団体・組織・企業との共同事業

イベント 「人と地球に優しい政治をもとめて～私たちのウェルビーライフ～」 共催: ウィメンズヘルスアクション実行委員会

調査 「全国女子高校生調査報告 女子高校生の声 自分のからだ」 共同調査: ガールスカウト日本連携

共同研究 「妊娠中出産後の母体の健康トラブル実態調査 #一人ママの声を聞かせて」 共催: NPO法人ReMind

学会主催 「第六回 日本産前産後ケア子育て支援学会」 主幹: 東京大学伊藤謝恩ホール

共同発表 「妊娠婦を孤立させないで! 家庭用エコーを使った妊娠婦の不安解消、うつ予防に関するアンケート」 共催: 株式会社Border

受賞 「第1回 SDGs JAPAN SCHOLARSHIP岩佐賞」 医療の部 受賞

助成金 令和4年、5年、6年度WAM事業「困窮する女性たちを救済するフェムシップドクターのインフラ構築」



# いろいろな支援のカタチがあります

日本女性財団は、皆様のご寄附・ご支援・会費で成り立っています。

ご寄附と協賛金などは、女性たちのための活動に活用させていただきます。



## 法人会員

Femship Partner

法人は、年会費制です。

- 50万円・100万円・300万円

(別紙の会員募集要項をご覧下さい。)



## 個人会員

Femship Supporter

個人の皆さまからのご寄附も承っております。ご寄附いただく際に「個人会員」として登録され、財団からニュースやイベントなどのご案内を受け取ることができます。  
企業にお勤めの方も個人会員としてご登録・ご寄附いただくことが可能です。

### 1. 定額のご寄附

- 毎月 1000円・2000円・3000円・5000円・10,000円

毎月の自動決済です。

◎各種クレジットに対応しております。

※定額のご寄附が、毎月理事会で報告されます。



- 年額 30,000円・50,000円・100,000円

毎年の自動決済です。

◎各種クレジットに対応しております。



### 2. 都度のご寄附

- いつでもご希望の金額でご寄附を承ります。

※都度のご寄附が理事会で報告されます。



\*一般財団法人のため、寄附控除は適用されません。

## ホームページのご案内

#femship



### ● お振込先

みずほ銀行 銀座中央支店

普通 3057005

一般財団法人日本女性財団

口座へ直接お振り込みされた場合は、事務局にご一報願います。

TEL: 03-5211-8522

メール: info@japan-women-foundation.org



### ● 財団との連携、各種登録、ボランティア、取材などのお問い合わせ

TEL: 03-5211-8522

メール: info@japan-women-foundation.org



一般財団法人 日本女性財団

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1  
大手町ビル1.2階 SPACES 大手町